

卒業研究		演習	教授 吉田 一康	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130401	

1. テーマ

国際取引法の基本事項を理解することをテーマとします。そのために、法律の基本から学び、また国際取引法とスポーツの関係に着目して、スポーツ仲裁や移籍規定などのスポーツ法についても説明し、国際的な視野を身に着けることを講義の目標とします。

2. ゼミのねらい・概要

卒業研究では、国際取引法に関して、専門ゼミの1年間で学んだ内容などから、各自にできるだけ研究対象を絞ったテーマを選択します。そして、研究目標として何を訴えたいのか、それを訴えることにどのような意義があるのかを明らかにするかたちで、卒業論文を作成していきます。

前期は、卒業研究に関係する国際取引法やスポーツ法の各事項について学習して、後期は、論文指導の後、中間発表、最終発表を行います。

3. ゼミ計画

〈前期〉 1. 論文の書き方（構成、引用方法など） 2. 各国法（大陸法と英米法など） 3. 小試験 4. 知的財産法（特許権など） 5. 著作権（国際的観点） 6. グループ学習（就職対策） 7. 民法とウィーン売買条約 8. 申し込みと承諾 9. 小試験 10. ドーピング 11. スポーツの不法行為など 12. グループ学習（就職対策） 13. インターネット法 14. ビジネス交渉 15. 前期まとめ・小試験	〈後期〉 1. 卒業論文指導，一般常識問題 2. 卒業論文指導，一般常識問題 3. 卒業論文指導，小試験 4. 卒業論文指導，一般常識問題 5. 卒業論文の中間発表，一般常識問題 6. 卒業論文の中間発表，小試験 7. 卒業論文の中間発表，一般常識問題 8. 卒業論文の中間発表，一般常識問題 9. 卒業論文の中間発表，小試験 10. 卒業論文の最終発表，一般常識問題 11. 卒業論文の最終発表，一般常識問題 12. 卒業論文の最終発表，一般常識問題 13. 卒業論文の最終発表，一般常識問題 14. 卒業論文の最終発表，一般常識問題 15. まとめ（批評など），一般常識問題
---	--

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各講義の内容に関係する参考文献の該当箇所を読んでくること（1時間程度）。講義後、授業内容や小試験の内容を復習して、解答を理解しておくこと（1時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

- ①小試験後、解答及び説明を行います。 ②卒業論文の発表後、講評を行います。

6. ゼミにおける学修の到達目標

- ①国際取引法・スポーツ法の基本を理解して国際感覚を磨くこと。 ②論文の作成方法・発表方法を理解すること。

7. 成績評価の方法・基準

平常点 70～80%（積極性、小試験など）＋ 授業への取組み姿勢（授業への貢献度、発表など） 20～30%

A 80点以上 B 70～79点 C 60～69点 D（不可）60点未満

8. テキスト・参考文献

毎回、必要資料を配布し、テキストは使用しませんので、特に購入する必要はありません。自習のための参考文献として下記のことを挙げます。

①佐野寛『国際取引法』（第4版）有斐閣 2014年（2750円）

②浦川道太郎他，日本スポーツ法学会監修『標準テキスト スポーツ法学』（第3版）エイデル研究所 2020年（2750円）

9. 受講上の留意事項

私語・態度不良など他の受講者の迷惑となる行為や、遅刻・中途退席などの目立つ受講者については、評価を減点又は受講を制限します。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、不動産会社等における法務の実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。